

学生用

後期の授業実施に向けて

お願い

- 体調が悪いときや感染が心配などときには、無理に登校しない。
- 改めて日常から「3密」の回避、マスク着用、手指の消毒などを心がける。
- 各時限の開始・終了前後の時間帯は「manaba」にアクセスしない。
- 大学内では遊興目的での動画視聴やゲーム等の継続的な通信をしない。
- 対面授業受講中は、許可なくネットワークを使わない。

- >後期の授業前の確認事項：(1) 遠隔授業の準備の注意【学内外や対面授業】【遠隔授業への協力と注意】
(2) 接続の事前確認とアップデートなど、(3) 推奨される機器と受信環境
- >遠隔授業で使うツール：(1) 学習支援システム manaba、(2) Meetingシステム zoom
大学のネットワーク使用の注意事項/感染者が出た場合の対応/これからに向けての法文学部の取組み

受講に当たり、重要な情報です。精読して下さい。

法文学部では、前期は遠隔授業のみの実施でしたが、後期は、一部ですが対面授業を実施する科目があります。そこで、あらためて、後期の授業に向けての注意事項や、遠隔授業や大学のネットワーク使用について確認します。対面授業の実施は、ある程度リスクを伴います。わかりきったことが書いてあると感じられるところもあるかもしれませんが、改めて丁寧に読んでください。なお、授業外においても、みなさんの思慮ある行動をお願いします。

また、鹿児島大学全体で様々な形の遠隔授業が導入され、学内のインターネットや提供するサービスの利用者が劇的に増加しており、授業配信などでの障害が発生することが懸念されています。対面授業も遠隔授業も全員が良い環境で受講できるよう、みなさんの協力をお願いします。

1. 後期の授業前の確認事項

(1) 後期の授業に向けての準備や注意について

【学内外や対面授業】

- ・登下校時や大学内では、「3密」の回避を心がけ、マスク等の着用、授業前後の手指消毒の励行をお願いします。特に、人と向き合って話すときには、必ずマスク等を着用しましょう。
- ・着席場所について、授業はじめの教員による注意や指示は時間の無駄ですので、密を形成しないよう、みなさんの自発的な配慮をお願いします。
- ・窓の開放など、教室の風通しの確保に協力をお願いします。また、窓の開放のために、室内の温度調整が難しい場合があります。着るものなどでの対応をお願いします。
- ・対面授業の受講中は、教員の指示以外でネットワークへの接続をしないで下さい。

- ・対面授業の情報や資料も manaba を通じて提供されます。教室で資料等が配布された場合でも、必ず、manaba にアップされて提供されます。
- ・体調不良の際は登校しないで下さい。また、対面授業が実施される科目でも、対面授業の受講に感染の不安を感じたり、基礎疾患などとの関係で受講できない場合、時間割の事情で参加できない場合などに対応するため、すべての科目で遠隔で受講できる方法を提供しています。この場合でも、成績評価上不利に扱われることはありません。ただし、manaba など、教員からの案内によく注意して対応してください。不明な点があれば、積極的に教員に問い合わせをしましょう。

【重要】ネットワーク利用の注意事項

以下の事項は、法令違反として刑罰の対象となったり、大学の規則違反として処分の対象になり得ます。十分に注意してください。

1. Zoom のミーティング ID とパスワードを漏らさない

Zoom で授業を受ける際に、担当教員から連絡のある「ミーティング ID」と「パスワード」は、他人に絶対に漏らさないようにしてください。SNS 等に掲載することはもちろん、たとえ鹿兒島大学の学生だとしても伝えてはいけません。

2. 鹿兒島大学 ID とそのパスワードを漏らさない

鹿兒島大学 ID は、鹿兒島大学のほぼ全てのシステムにログインするための重要な ID です。情報が漏れた場合は、なりすましにより学生のみならず自身が直接被害を受ける場合があります。鹿兒島大学IDは、厳重に管理し、漏らしたり口外したりすることがないように気をつけてください。

なりすまし等で鹿兒島大学IDが他人に利用された場合でも、アカウント停止の措置がとられる場合があります。その場合、manaba にログインできない期間が発生し、授業の受講に支障が出る可能性があります。

3. 授業資料や授業画面などを転載・転送しない

授業などで教員が提供する資料は、著作権法の下で受講生にのみ提供されるものです。

授業資料などをインターネット上(SNS やメール等)で、転載・転送することは絶対に行わないでください。具体的なケースを整理しました。必ず確認してください。

ケース①: manaba に掲載された授業資料を SNS にアップした。

→ファイル全体をアップすることはもちろん、資料の一部の写真を撮ってアップロードすることも禁止です。

ケース②: Zoom の画面や manaba 画面のスクリーン・ショットを撮り、友人に LINE で送信した。

→Zoom は講義室と同じです。個人情報の保護の観点から、スクリーン・ショットを撮ることも禁止です。また、manaba の画面のスクリーンショットも同様です。

【遠隔授業への協力のお願いと注意事項について】

- ・前期と同様に、授業のための情報や資料は manaba に掲載されます。印刷物は配付しません。

課題提出型の授業の課題や参考文献、オンライン型の授業に用いる zoom の会議室情報、オンデマンド型授業で用いる映像や音声の教材の URL 情報は、manaba を通じて提供されます。資料等の印刷は、必要に応じて各自でお願いします。

⇒今後も、manaba の利用者が集中するとアクセス障害が発生することが見込まれるため、授業についての情報取得や課題の提出は、各時限の開始・終了前後の時間帯や締切直前にはしないこと。時間の余裕を持って対応しましょう。

⇒manabaをはじめ各種サービスにアクセスできない場合、その場で繰り返しアクセスせず、時間をあけて、改めてアクセスして下さい。

(2) 接続の確認と環境改善のお願い

- ・遠隔授業は、インターネットの接続と授業スタイルに適応する機器や受信環境が必要です。文字が読みにくいなど一部不便かもしれませんが、スマートフォンでも受信できます。

⇒前期に受講できた人も、事前の確認作業として、あらためて、**授業の受講に使う予定の機器やその場所で下記を確認**して下さい。

- ①manaba に掲出されているアンケートに回答したり、授業資料をダウンロードして読むことができること。
- ②動画配信 (youtube など) を問題なく視聴できること。
- ③Meeting サービス「zoom」をインストールして、自分の顔を画面に映すことができること。パソコンの場合、声を出してみ、画面左下のマイクアイコンが反応すること。

※ zoom は最新版を利用してください。アカウント・アイコンから、「アップデートの確認」をすると自動的にアップデートが始まります。プライバシーに関する新しい機能を授業で使う場合など、必須場合があります。

※ 音が聞きにくいというコメントをいただいておりますが、PCのスピーカーで聴こうとしている方がいるようです。イヤフォンを利用すると音量の確保や外部の音を遮断できて便利です。百円均一のもので十分ですのでお試しください。

- ・みなさんからのアンケートで、オンライン授業がうまく受信ができなかった場合があるとの回答が見られます。その場合は、まず、事前に可能な限りよい受信環境を確保する努力をお願いします。そして、オンラインでの受講がうまくできなくても、最終的には、オンデマンド型か課題提出型でのサポートが行われています。どの方法で受講しても、成績評価上不利に扱うことはありません。授業内容と習得すべき目標を確認しながら、安心して学習してください。また、受講状況を担当教員に適切に連絡して下さい。

(3) 推奨される機器とネット環境 (前期と同じです。)

- ・法文学部では、遠隔授業を受講するために、自分用のパソコン (タブレットを含む) と「常時無制限」での接続を確保することを推奨しています。
- ・遠隔授業を、友人と一緒に、まして集まって受講することは「密」を形成しますので、残念ですが勧められません。

遠隔講義の受講自体に支障があったり、たまにつながらない場合があったとしても、そのことにより、成績評価上不利に扱うことはありません。manabaに掲載されている情報を確認し、代わりに準備されている方法で学習してください。分からないことがあったら、速やかに、各授業の担当教員と相談して下さい。

2. 遠隔授業で使うツール (前期と同じです。)

(1) 「標準ツール」

法文学部では、教員向けに授業で用いるツールとして「標準ツール」を設定しており、教員は、それを中心に教材の作成・提供や授業運営をしていきます。

※ 科目の特徴や授業運営上の便宜から、それ以外のツールを使うこともありますので、授業担当の先生方の指示に従って対応して下さい。

「標準ツール」を使う場合、みなさんの側では、下記のツールを使うことになります。

- ・ 授業情報の発信／課題提出など：manaba
- ・ 映像受信：それぞれの PC やスマートフォンのブラウザや専用受信ソフト。
- ・ オンライン授業の参加：zoom

(2) zoon での授業参加について

リアルタイム・双方向で実施する講義や演習の標準ツールは、zoom です。次の手順で授業に参加します。

- ・ 授業に参加するための URL 情報やミーティング ID、パスワードの情報が、各科目で manaba を通じて提供されます。この情報は担当教員ごと、場合によっては授業毎に別々です。授業開始時に慌てないよう、余裕を持って、事前に情報を獲得して下さい。
- ・ 授業に参加するときに、その URL にアクセスするか、zoom のアプリケーションを開いて「ミーティングに参加」をクリックして、求められた情報を入力します。

参 考：<https://bit.ly/2z9528H>



- ・ **マイク操作は重要**です。

会議室に入ったら、左下のマイクアイコンを見てミュート状態を確認して下さい。

=>比較的人数の多い講義を受講する場合など、聴き手になる授業ではマイクをミュートにしておく**(厳守)**。(マイクアイコンに「/」がついていればOK)。指名されたときにそれをクリックしてミュートを外して発言し、やりとりを終えたら再びミュートにする。

=>演習などでの意見交換や討論をする場合は、ミュートを外したままにしてやりとりする。(ただし、マイクが拾った音で、画面が変わってしまうことがあるので要注意。周りで音がしている中で受講する場合、発言しないときはミュートにしておく方がよい場合があります。)

(3) その他

このほか授業の事情に応じて使われるツールがあるかもしれませんが、授業担当の先生の指示の下で対応して下さい。

3. 注意事項 (この項目は、前期同様です。)

- ・ 授業は、時間割通りに展開されます。同時双方向のオンライン型授業はもちろん、オ

ンデマンド型や課題提出を中心とする授業であっても、それに合わせて受講できる環境を確保して下さい。

- ・以下は改めて厳守して下さい。

⇒大学から得たパーソナル情報（学籍番号や鹿大IDなど）を漏洩させない。

⇒大学から得たURL情報やパスワード、授業などで得たファイルや映像のスクリーン・ショットなどを漏洩させない。

- ・対面授業で登校した際など、大学内のネットワークを利用する場合、遊興目的での動画視聴やゲーム等の継続的な通信を行う利用をひかえて下さい。対面授業の受講中は、許可なくネットワークを利用しないでください。

※ これらの行為によって無線LANのアクセス・ポイントの負荷が増えて、やむを得ず大学で授業動画の視聴をしたり、オンライン授業に参加している学生が受講できなくなるなどの支障が出る可能性があります。

4. 感染者が出た場合の対応

- ・一部の科目で対面授業が実施されますが、鹿兒島大学では、感染者が発生した場合、判明した翌日から1週間は遠隔授業のみを実施することを原則としています（令和2年9月16日現在）。大学からの連絡によく注意をして対応してください。

5. 今後に向けての取組み

前期の授業及び夏季集中講義では、新型コロナウイルスの対応のためとは言え、遠隔授業や様々な感染予防対策の実施への対応、ありがとうございました。

法文学部では、これまでみなさんに回答していただいたアンケートについて、全学の回答から法文学部のみなさんの回答を抽出して集計し、その結果を教員で共有しています。法文学部で実施しているアンケートも同様です（もちろんみなさんの個人情報は隠されています）。

法文学部は、大規模授業が多い一方、少人数でのゼミの数も多く、多様な授業形態を実施しているため、使える教室の数と規模の制約から、新型コロナウイルス感染症対応と対面授業を幅広く実施することが両立するような時間割の編成が困難な状況にあります。

現状では、対面授業の実施は、ある程度リスクを引き受けての実施となります。みなさん一人ひとりの協力があって、安全を確保できる状況です。

法文学部では、引きつづきみなさんの声を受け止めながら、新型コロナウイルス感染症の情勢が改善されることを信じて、より充実したキャンパスを取り戻せるよう努力していきますので、これからも協力をお願いします。